

TOSHIBA

あかるい明日を技術でひらく

東芝非常用照明器具(専用形)取扱説明書 建築基準法適合品

公共施設

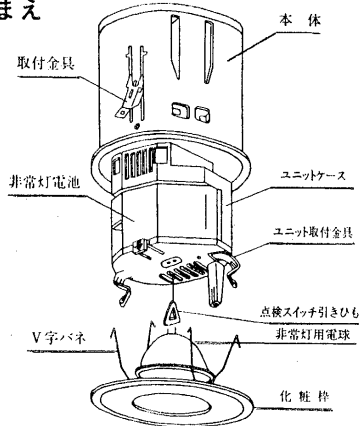
K1-IRS4-J10

K1-IRS4-J23

このたびは東芝非常用照明器具をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。

お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

●各部のなまえ



●仕様

器具形名	重量	電池形名	ランプ形名
IEM-13201(B)	1.00kg	4NR-CH-BE	JB 4.8V13W-ML
IEM-13101			
IEM-13500			
IEM-30201	1.49kg	9NR-CH-BE	JB10.8V30W-ML
IEM-30101			JB10.8V30W-MM
IEM-30203			
IEM-30103			JB10.8V30W-MH
IEM-30204			
IEM-30104			JB10.8V30W-MS
IEM-30205			
IEM-30105			

*IEM-13201、IEM-30201は公共施設適合器具です。

●特にご注意ください

注) 形名より形状が異なります。

- ①電源回路は必ず分電盤からの専用回路とし、灯具部と分電盤の間には、点滅スイッチを設けないでください。
- ②器具の改造や、ランプ・電池以外の部品の交換は絶対におやめください。性能が十分に発揮できないばかりが大変危険です。
- ③ランプの取り付けは、必ず通電してから行なってください。
- ④反射鏡の鏡面反射面およびランプには、直接素手で触れないでください。
- ⑤この器具は天井板(木ねじが十分効く厚さのもの)に取り付けてください。薄い天井板などに取り付けますと、ねじ止めが弱く引きひもを強く引っぱったときや振動などで器具が落下するものになります。
- ⑥この器具の電源は昼夜連続給電してください。
- ⑦三ヶ月に一回、定期的に非常点灯を行ない、点灯状態を確認し、点検カードにその結果を記入してください。
(下の点検カードを切り取って使用してください)
- ⑧定期点検の際の性能確認で点灯持続時間が30分以下の場合には、内蔵の電池を交換してください。〔仕様〕欄を参照してください。
交換した古い電池は捨てないで、お買い求め先またはお近くの東芝お客様ご相談センターにお渡しください。
- ⑨非常時高温多湿雰囲気中で点灯したあとは、再使用できません。新しい器具と交換してください。
- ⑩この器具は5℃～35℃の範囲で使用するように設計してあります。取り付けの際はご注意ください。
- ⑪点検スイッチの引きひもを引きますと、非常電源に切り替わり、非常点灯を確認できます。
- ⑫ランプ交換の際には、「東芝非常灯用ミニハロゲン電球」とご指定ください。〔仕様〕欄を参照してください。
- ⑬この器具の定格電圧は100Vですので、電源電圧がこれに近く、変動の少ないことを確かめてください。
- ⑭この器具は電池を内蔵しています。電源を通電しないまま、電池コネクターをつないで放置すると過放電状態になりますので、おやめください。
- ⑮この器具を試験する場合、内蔵の電池が放電している場合があるため、48時間以上充電してください。
- ⑯電池のヒューズ交換の際には5Aを使用してください。
- ⑰長時間使用しないときは、消灯するまで電池を放電させてください。
- ⑱工事が終了してから、供用開始されるまで時間がある場合は、消灯するまで電池を放電させてください。その後、電池を外して保存してください。

東芝非常用照明器具点検カード

設置年月日 設置場所

点検責任者

点検年月日	点検箇所(チェック)	点検者
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	

点検年月日	点検箇所(チェック)	点検者
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	

●保守、点検方法

- ①充電モニターが点灯しているかどうか確認してください。
- ②充電モニターが点灯している時は、電池は充電されていません。不点の原因を確認のうえ処理してください。
- ③非常点灯の性能チェックをするときは二昼夜以上通電し、十分充電したのち非常電源をしゃ断して非常点灯に切替えてください。
- ④非常点灯の状態を確認してください。また器具の外観も点検してください。30分経過後、非常点灯しているかどうか再び確認してください。
- ⑤充電モニターが点灯していないとき、および非常点灯が30分持続しないときは確認のうえ適切な処理をしてください。
- ⑥充電回路の故障、電池のコネクターはずれランプの断線、ゆるみ、非常電源の開放のような場合にはモニターランプは点灯しません。

切り取って必ず保存してください

工事店様へ

工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様にお渡しください

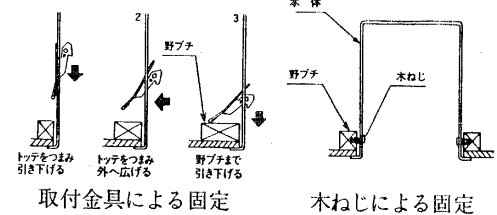
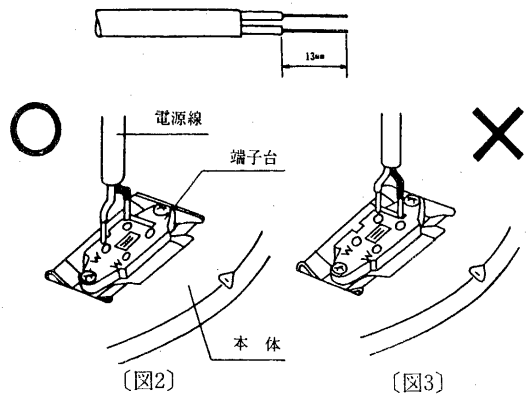
お客様へ

この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。一般の方の工事は法で禁じられています

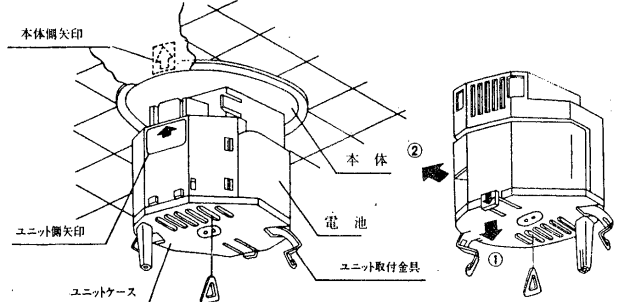
● 器具の取り付けかた

- ①天井に埋込穴をあけます。埋込穴寸法はφ 100です。
- ②本体から化粧枠をはずします。
- ③天井からの電源線を本体の端子台に接続します。〔図2〕
 〈注〉 1. 電源線のストリップ(皮むき)は、端子台上面に表示されたストリップゲージに合わせて長さを正確にきめてください。〔図1〕
 2. 図3のようにさし込まないでください。
- ④本体を埋込穴に押し込み取付金具で固定します。
 ただし、取付金具が不可能な場合は木ねじで取り付けてください。〔図4〕
 「重量器具のため工事の際は必ず、野ブチを使って取り付けてください。」
- ⑤ユニットの取り付けは、本体側矢印とユニット側矢印を合わせて押し上げてください。〔図5〕
 押し上げた際、ユニット取付金具(ツメ)が確実に本体に固定していることを確認してください。
- ⑥電源を入れてから、ランプを挿入し化粧枠を取り付けてください。
- ⑦電池交換の際は、ユニットツメ部①矢印を押し下げて、電池を②の方向に抜いてください。〔図6〕
- ⑧取り付けが終わりましたら、器具が正常に動作するか、保守・点検の要領をご参照のうえ、充電モニタの点灯確認をしてください。

〔図1〕 電源線のストリップ



〔図4〕 器具の取り付けかた



〔図5〕 ユニットの取り付けかた 〔図6〕 電池交換方法

● お手入れのしかた

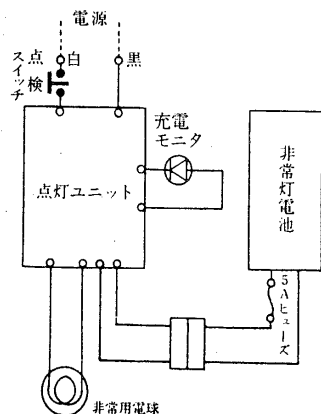
- ①器具のお手入れは必ず非常用電球を取りはずしてから平常電源を切って行なってください。
- ②金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。傷つけたり、腐食の原因となります。
- ③ランプは取りはずしてから、乾いた布でふいてください。

● 修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、必ず非常用電球を取りはずしてから平常電源を切って、お買いあげの工事店(販売店)またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは器具の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

東芝ライテック株式会社 〒140 東京都品川区南品川2丁目2番13号(南品川JNビル)
 照明電材事業部 TEL (03) 5463-8768

器具の回路図



点検のポイント

1. 外観チェック
 光源・反射板・化粧枠などは汚れていませんか。
2. 充電モニターのチェック
 充電モニターは点灯していますか。
3. 切替動作チェック
 非常点灯に切替わりますか。
 (電池内蔵の場合は点検スイッチを引いてください。)
4. 性能チェック
 点灯持続時間
 非常点灯切替後30分間点灯が持続しますか。

注意事項

1. 非常灯器具の電源は、昼夜連続給電願います。
2. 3カ月に1度は定期的に点検し、点検カードに記録願います。
3. 点灯持続時間のチェックを行ない性能が満足しないときは、次の保守を願います。
 (1)電池内蔵の場合、同一形名の電池と交換してください。
 ★交換した古い電池は、すてないで買い求め先または最寄りの東芝お客様ご相談センターにお渡しください。
4. 万一動作しない場合、充電モニターの不点の原因がわからない場合は、買い求め先、または最寄りの東芝お客様ご相談センターにご連絡ください。